

に い が た 支 部 会 報

令和 2 年秋号 (NO. 19)

発行：日本会議新潟支部 広報委員会

所在地：〒950-0912

新潟市中央区南笹口1丁目1番38号 ヲブ初光7笹口506号

電話：025-384-0252 FAX：025-384-0352

日本会議綱領 一つ一つの行動に意味がある。少しでも向上し伸びる運動を目指します。

- 一、我々は、悠久の歴史に育まれた伝統と文化を継承し、健全なる国民精神の興隆を期する。
- 一、我々は、国の栄光と自主独立を保持し、国民各自がその所を得る豊かで秩序ある社会の建設をめざす。
- 一、我々は、人と自然の調和をはかり、相互の文化を尊重する共生共栄の世界の実現に寄与する。

1 「私点・論点」

退任された安倍前総理へ

日本会議新潟支部理事 寺澤 要子 氏

女史会メンバーに「言霊（ことだま）」を勉強している人がいる。古い話になるが、確か知事選の頃、ある「道の駅」に安倍総理の大きなポスターが貼ってあった。彼女は一人で近づいて行き「頑張れ！」と声をかけていた。偶然その姿を見た私に、彼女は「思いは言霊を通して伝わるんだよ。」と言った。それ以来、私もテレビの映像に対しても「頑張れ！」と声をかけていた。



女史会は、各々温度差はあるものの、憲法改正への思いは熱く、それが共通項となり、連体を深めている。従って今までは、憲法改正にぶれない安倍元総理支持でまとまっていた。憲法改正、道半ばでの辞任表明には、メンバーには程度の差こそあれ、茫然・意気消沈・狼狽している。

私は、国会での議論は先ず外交と国防が第一義と考える。内政とは両輪である。武漢ウィルスは正に「目くらまし」効果をみごとに発揮している。武漢ウィルス以前には、森友・加計問題を過去に遡って話題にし、二月以降はウィルス問題、ポスト安倍問題と、マスコミは団子状態になって報じている。マスコミも議員も、憲法・国防問題を故意に避けているのではないか。マスコミ団子は敢えて近視眼的に国民の目を内向き、後向きに誘導している。

視点のずれた野党や、蒙古斑が残っているかのような記者団に囲まれ、幾多の苦渋（汗）を呑み、断腸の思いを乗り越えられた安倍元総理には、感謝を込めて「お疲れ様でした。」と申し上げたい。そして、世界を相手に日本の存在感を示した安倍元総理を誇らしく思う。失ってから見えることが、これからも出てくるであろう。七年八ヶ月の長期・安定政権は安倍元総理の優れたリーダーシップに起因することは当然であるが、他にも一つある。それは、マスコミ団子に左右されない、マスコミ団子では話題にもしない、地味に、着実に冷静に安倍政権を支持し続けた日本人がいるという事。日本人の良識と民度の反映であったとも思う。

《 広告 》



総理退任報告の為靖国神社ご参拝

新潟総鎮守

白山神社

宮司 小林 敬直

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町1-1
TEL025-228-2963 FAX025-228-2959